

(株)オルガノが国の「難分解性有機化合物処理技術検討評価委員会」の評価を得るために実施した試験の結果を以下に示します。

### 【1】PCB分解試験

Run No.	処理前 PCB (ppm)	試薬流量 (ℓ/h)	処理後 PCB (ppm)
2	54	5.2	<0.5
3	58	5.2	<0.5
4	142	7.0	<0.5
5	151	7.0	<0.5
6	860	21.0	<0.5
8	46	5.2	<0.5
9	42	5.2	<0.3
10	600	15.0	<0.3

### 【2】後処理試験

オイル性状分析結果

項目	処理油	再生油
水分(ppm)	85	5
酸度(mg-KOH/g)	0.005	0.002
体積抵抗率(GΩ m)	2.1	687.0
耐電圧(kV)	35	73
Interfacial Tension(dyn/cm)	25	46

再生油の性状は、石油から合成した新品のトランス油と同等である。

**【3】 反応生成物の確認 (RUN10)**

採取箇所	PCBs	ダイオキシン類	他
汚染油 a	600mg/kg	27,300pg/kg	
処理油 b	<0.3mg/kg	150pg/kg	
排ガス c	<50ng/m <sup>3</sup> N	0.0246pgTEQ/m <sup>3</sup> N	HCL. 0.002g/m <sup>3</sup> N
排水 d	<0.01mg/kg		

**【4】 環境への影響**

【3】の分析結果から、各排出物に検出限界のPCBが含まれているという最悪の仮定をすると、PCBの分解率は99.948%以上であり、周辺環境への影響はない。